

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果について＜資料＞

令和5年4月18日（火）に全国一斉に実施された「全国学力・学習状況調査」（以下「全国調査」）について、京都市立学校の状況をお知らせいたします。

小学校は国語、算数の2教科とも、中学校も国語、数学、英語の3教科とも全国の公立学校の平均（以下「全国平均」）を上回る良好な結果となりました。

1 調査の概要

- (1) 実施日 令和5年4月18日（火）
- (2) 対象学年 小学校第6学年、小中学校第6学年、総合支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、小中学校第9学年、総合支援学校中学部第3学年
- (3) 実施教科等
- ① 教科（国語、算数・数学、英語※中学校のみ）に関する調査
 - ② 児童生徒質問紙調査 生活習慣や学習環境等に関する調査
 - ③ 学校質問紙調査 学校における指導方法や教育条件の整備の状況等に関する調査
- (4) 実施市立学校数・参加人数

	実施学校数	参加人数
小学校調査	159校（小中学校8校・総合支援学校1校含む）	9,342人
中学校調査	71校（小中学校8校・洛友中学校を除く）	8,202人

2 教科に関する調査の結果について

(1) 小学校調査

小学校の平均正答率は、全国平均を国語は3.8ポイント、算数は4.5ポイント上回るなど、良好な結果となっています。また、本調査が開始された平成19年度以降、全国平均を上回っています。

また、無解答率については、2教科とも全ての設問において、全国平均を下回る結果となっており、子どもたちが最後まで諦めずに粘り強く解答しようと取り組んだ姿勢がうかがえます。

◆公立学校の平均正答率・指数

	国語			算数		
	平均正答率	指数	標準偏差	平均正答率	指数	標準偏差
京都市	71 (+3.8)	105.7	2.9	67 (+4.5)	107.2	3.7
全 国	67.2	100.0	2.9	62.5	100.0	3.8

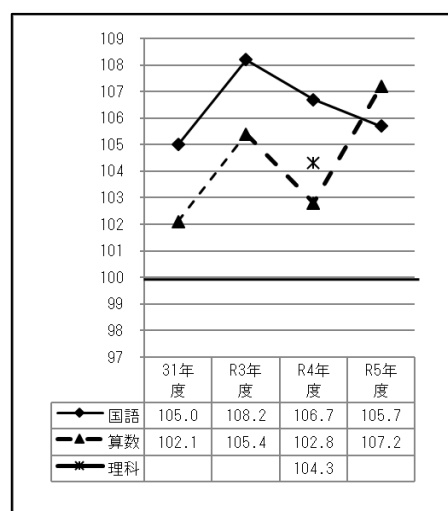
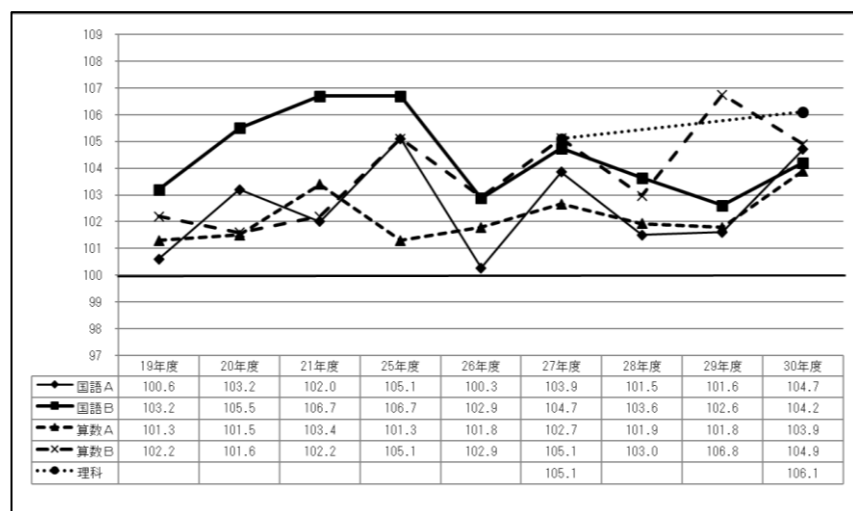
※ 指数…全国（公立）の平均正答率を100とした場合の京都市の平均正答率の値

※ 京都市の数値の下の（ ）内は全国値との差

※ 標準偏差…集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。

標準偏差が小さい場合、データのばらつきが少ない（児童ごとの正答率の差が小さい）ことを意味する。

◆本市の指数の経年変化



※ 平成 22 年度、24 年度は抽出調査のため除く。

※ 平成 23 年度は東日本大震災のため中止。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症のため中止。

※ 理科（小・中）は平成 27 年度以降、3 年に 1 度実施。

※ 平成 31 年度（令和元年度）調査より、従来の A・B 問題が統合されたため別表とする。

◆分析・問題例

<国語>

○平均正答率は、全ての問題で全国平均を上回り、全体では 3.8 ポイント上回っています。
○領域別では、全国的な傾向と同様、「書くこと」において、その他の領域（「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」と比較すると低い正答率でした。

正答率が低かった問題例

■大問 1 ◆米作りについて解説する文章を書く

- ・二 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題（記述式）

正答率 **33.4%**（全国平均 **26.7%**） 無解答率 4.4%（全国平均 7.1%）

<算数>

○平均正答率は、全ての問題で全国平均を上回り、全国平均を 4.5 ポイント上回っています。
○領域別では、全国的な傾向と同様、「図形」において、その他の領域（「数と計算」「変化と関係」「データの活用」と比較すると低い正答率でした。

正答率が低かった問題例

■大問 2 ◆図形の構成の仕方を観察して図形について判断すること（テープ）

- ・(3) 正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題（短答式）
正答率 **29.0%**（全国平均 **24.9%**） 無解答率 2.6%（全国平均 3.7%）
- ・(4) 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題（記述式）
正答率 **27.6%**（全国平均 **20.8%**） 無解答率 3.1%（全国平均 4.0%）

■大問 4 ◆目的に応じてデータの特徴や傾向を読み取ったり捉えたりすること（運動調べ）

- ・(1) 百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる問題（選択式）
正答率 **49.6%**（全国平均 **46.0%**） 無解答率 1.2%（全国平均 2.4%）

(2) 中学校調査

中学校の平均正答率は、全国平均を国語は 1.2 ポイント、数学は 2.0 ポイント、英語は 3.4 ポイント上回るなど、良好な結果となっています。平成 26 年度以降、国語、数学において全国平均以上となっております。

さらに、約 7 割の設問において無解答率が全国平均と同等または下回る結果となっており、子どもたちが最後まで諦めずに解答しようとする姿勢がうかがえます。

※ 英語は、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の 4 技能の調査が行われましたが、参考値として正答数、正答率の全国平均のみ公表された「話すこと」を除く 3 技能について、分析を行います。

◆公立学校の平均正答率・指数

	国語			数学			英語（3 技能）		
	平均正答率	指数	標準偏差	平均正答率	指数	標準偏差	平均正答率	指数	標準偏差
京都市	71 (+1.2)	101.7	3.3	53 (+2.0)	103.9	3.9	49 (+3.4)	107.5	4.2
全 国	69.8	100.0	3.4	51.0	100.0	3.9	45.6	100.0	4.2

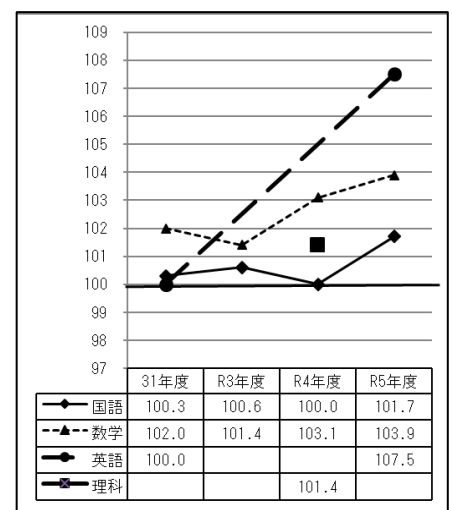
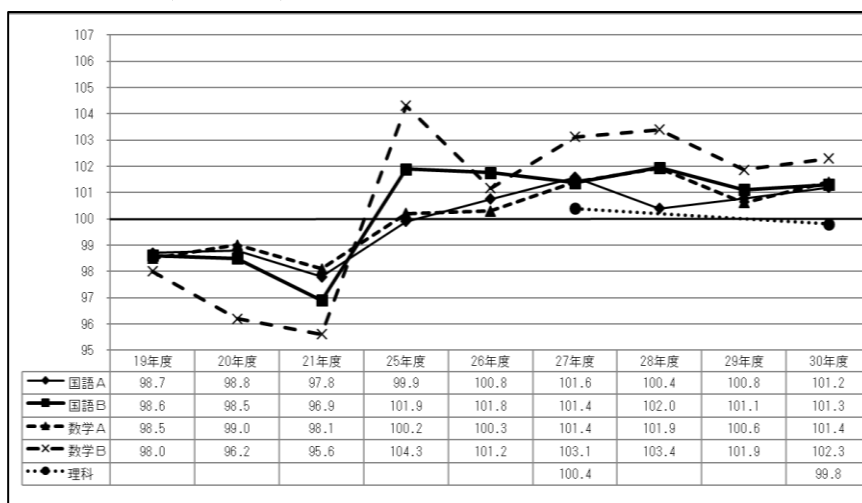
※ 指数…全国（公立）の平均正答率を 100 とした場合の京都市の平均正答率の値

※ 京都市の数値の下（ ）内は全国値との差

※ 標準偏差…集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。

標準偏差が小さい場合、データのばらつきが少ない（生徒ごとの正答率の差が小さい）ことを意味する。

◆本市の指数の経年変化



※ 平成 22 年度、24 年度は抽出調査のため除く。

※ 平成 23 年度は東日本大震災のため中止。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症のため中止。

※ 理科（小・中）は H27 以降、3 年に 1 度実施。英語（中のみ）は、H31（R1）以降、3 年に 1 度実施予定。

※ 平成 31 年度（令和元年度）調査より、従来の A・B 問題が統合されたため別表とする。

◆分析・問題例

<国語>

○平均正答率は、全国平均を 1.2 ポイント上回っています。

○領域別では、全国的な傾向と同様、「情報の扱い方に関する事項」において、その他の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」）と比較すると低い正答率でした。ただし、もっとも正答率が低かった問題は、文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる問題でした。

正答率が低かった問題例

■大問 1 ◆インタビューをする（社会で働く上で大切なこと）

- ・二 意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題（選択式）
正答率 **64.7%**（全国平均 **65.1%**） 無解答率 0.2%（全国平均 0.2%）

■大問 3 ◆レポートを書く（「判じ絵」）

- ・二 文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる問題（短答式）
正答率 **42.1%**（全国平均 **43.9%**） 無解答率 11.2%（全国平均 10.7%）

<数学>

○平均正答率は、全国平均を 2.0 ポイント上回っています。
○領域別では、全国的な傾向と同様、「図形」において、その他の領域（「数と式」「関数」「データの活用」）と比較すると低い正答率でした。

正答率が低かった問題例

■大問 3 ◆空間図形

空間における平面が同一直線上にない 3 点で決定されることを理解しているかどうかをみる問題（選択式）

正答率 **32.3%**（全国平均 **30.4%**） 無解答率 0.9%（全国平均 0.8%）

■大問 7 ◆データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること（黄葉日）

- ・(2) 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題（記述式）

正答率 **35.3%**（全国平均 **33.6%**） 無解答率 20.1%（全国平均 22.8%）

■大問 9 ◆平行線や角の性質を基に、図形を考察すること（合同な 2 つの三角形と平行線）

- ・(1) ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる問題（記述式）

正答率 **33.9%**（全国平均 **32.1%**） 無解答率 21.7%（全国平均 24.7%）

- ・(2) 条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる問題（短答式）

正答率 **38.1%**（全国平均 **37.0%**） 無解答率 13.3%（全国平均 14.2%）

<英語（3 技能）>

○平均正答率は、全国平均を 3.4 ポイント上回っています。
○領域別では、全国的な傾向と同様、「書くこと」において、その他の領域（「聞くこと」「読むこと」）と比較すると低い正答率でした。

正答率が低かった問題例

■大問 8 ◆短い文章の要点を捉えて、考えとその理由を書く

- ・(2) 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる問題（記述式）

正答率 **25.3%**（全国平均 **19.5%**） 無解答率 22.1%（全国平均 29.3%）

■大問 9 ◆文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書く

- ・(1)② 疑問詞を用いた一般動詞の 2 人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる問題（短答式）

正答率 **22.7%**（全国平均 **20.9%**） 無解答率 9.5%（全国平均 10.9%）

■大問 10 ◆まとまりのある文章を書く

日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる問題（記述式）

正答率 **8.3%**（全国平均 **7.4%**） 無解答率 16.8%（全国平均 21.4%）

3 児童生徒質問紙調査等の結果について

特徴が見られた質問を抽出して掲載しています。質問は年度ごとに異なるため、データがない年度があります。

（1）生活習慣・学習習慣等

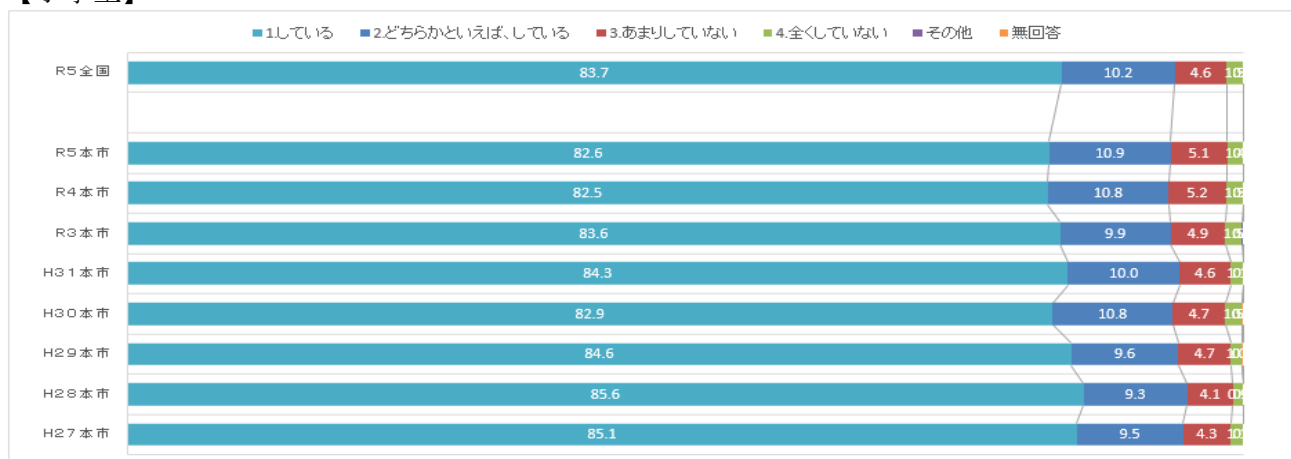
「朝食を毎日食べていますか」という問いと各教科の正答率の間に、相関関係（※質問に対する回答が肯定的であるほど正答率が高い関係）が小・中学生ともに見られました。

学習習慣に関する質問については、「自分で計画を立てて勉強をしているか」という問いにおいて、肯定的な回答をした割合が、小学生は全国平均並みですが、中学生では減少傾向であり、全国平均を下回っています。また、「平日の学習時間」及び「土日の学習時間」は、「平日2時間以上」「土日3時間以上」など、多くの時間を学習に向けている子どもも多くいる一方で、「平日30分未満」「土日1時間未満」と回答する子どももあり、特に中学生においてその割合が全国平均と比較しても多くなっています。

また、平日の読書時間について、「全くしない」「10分より少ない」と回答した児童生徒は、各教科の正答率が低い傾向が見られます。中学生においては4割近くの子どもの読書を「全くしない」と回答しており、読書離れが続いていることがうかがえます。

○朝食を毎日食べていますか

【小学生】



【中学生】



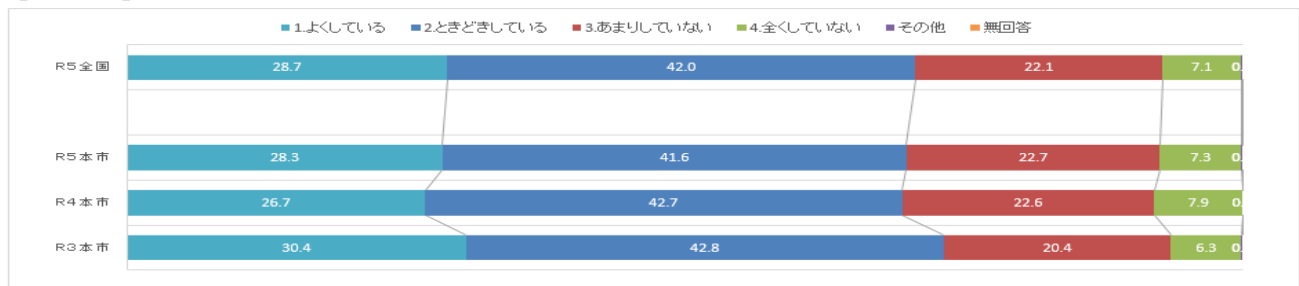
【クロス集計】（単位：％）

* その他・無回答を除くため、児童生徒数の割合の合計は必ずしも100%とはならない。クロス集計の対象は教科に関する調査（国語、算数・数学、英語※中学校のみ）を一つ以上実施し、かつ、児童生徒質問紙調査を実施した児童生徒であるため、児童生徒数割合が上記グラフと一致しない場合がある。（以下同じ）

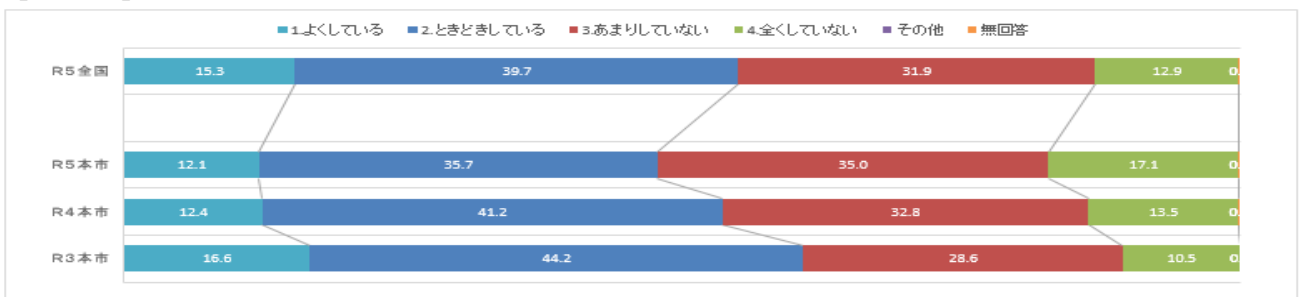
朝食を毎日食べていますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
食べている	83.1	72.8	68.3	74.2	72.9	55.8	51.9
どちらかといえば、食べている	10.7	67.3	62.2	14.7	68.3	47.4	43.5
あまり食べていない	4.9	59.9	52.7	7.0	63.4	41.6	39.2
全く食べていない	1.3	54.9	50.4	4.0	58.0	37.8	36.4

○家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）

【小学生】



【中学生】

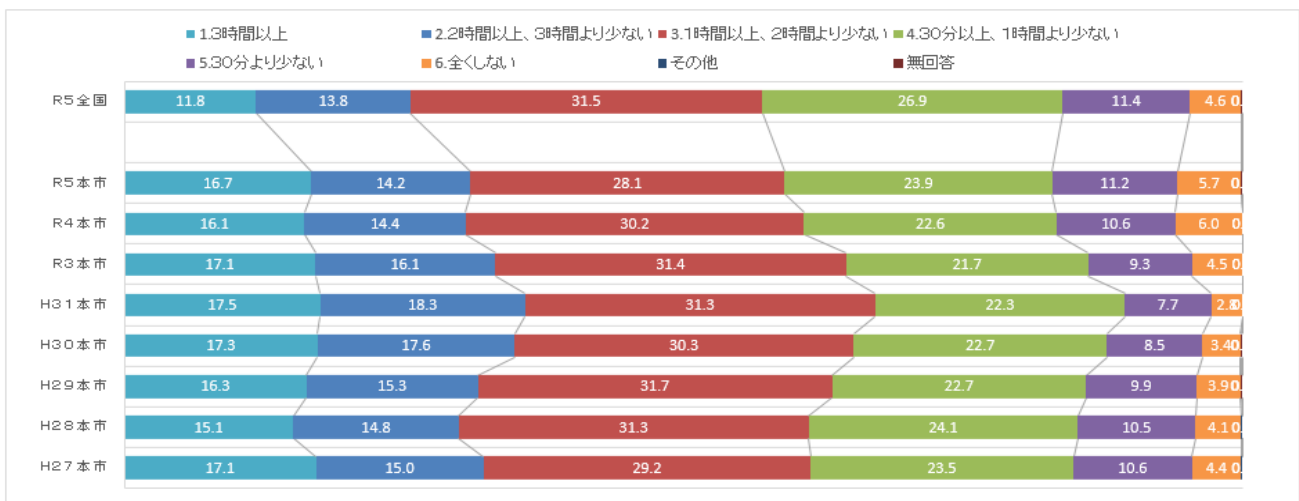


【クロス集計】（単位：％）

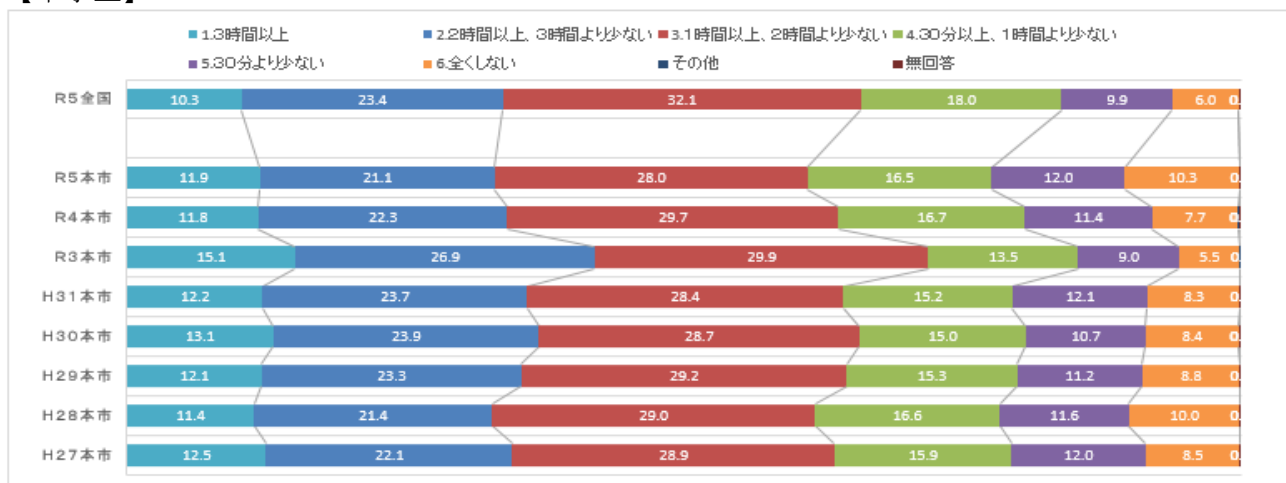
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
よくしている	28.4	77.8	74.2	12.1	77.1	62.4	59.0
ときどきしている	41.7	70.9	65.6	35.7	73.4	55.2	51.3
あまりしていない	22.6	67.0	62.2	35.0	70.1	50.9	47.1
全くしていない	7.2	62.2	56.8	17.0	63.4	45.1	41.8

○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間を含む）

【小学生】



【中学生】

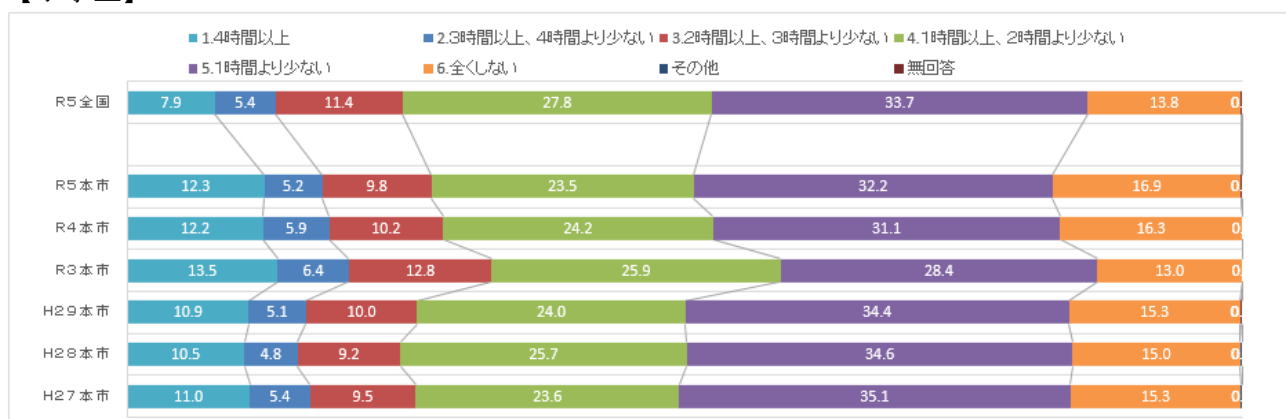


【クロス集計】（単位：％）

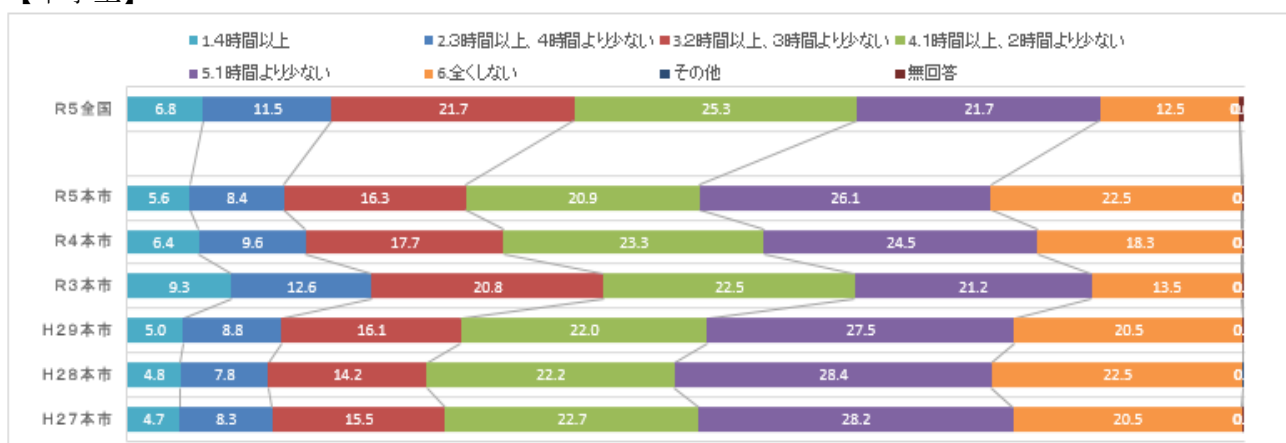
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
3時間以上	16.8	80.2	79.5	11.9	74.8	59.7	58.6
2時間以上、3時間より少ない	14.3	73.4	68.9	21.1	74.2	56.8	54.2
1時間以上、2時間より少ない	28.3	72.0	66.5	28.0	72.3	54.8	50.6
30分以上、1時間より少ない	23.8	69.5	64.0	16.5	72.5	52.9	47.2
30分より少ない	11.1	64.7	58.0	12.0	67.1	47.0	41.7
全くしない	5.6	57.7	51.5	10.3	58.6	38.2	35.7

○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

【小学生】



【中学生】

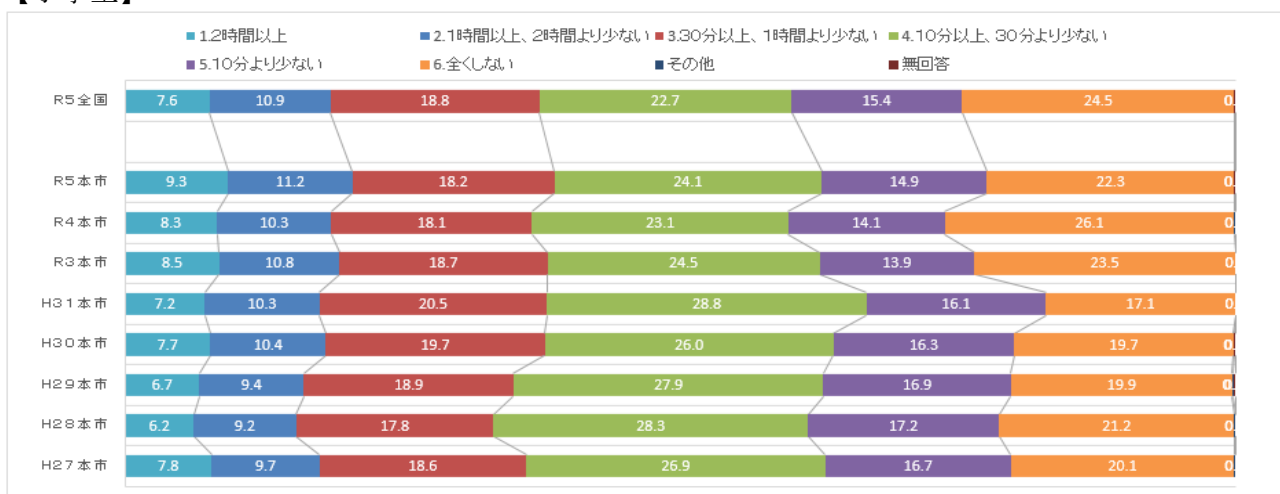


【クロス集計】（単位：％）

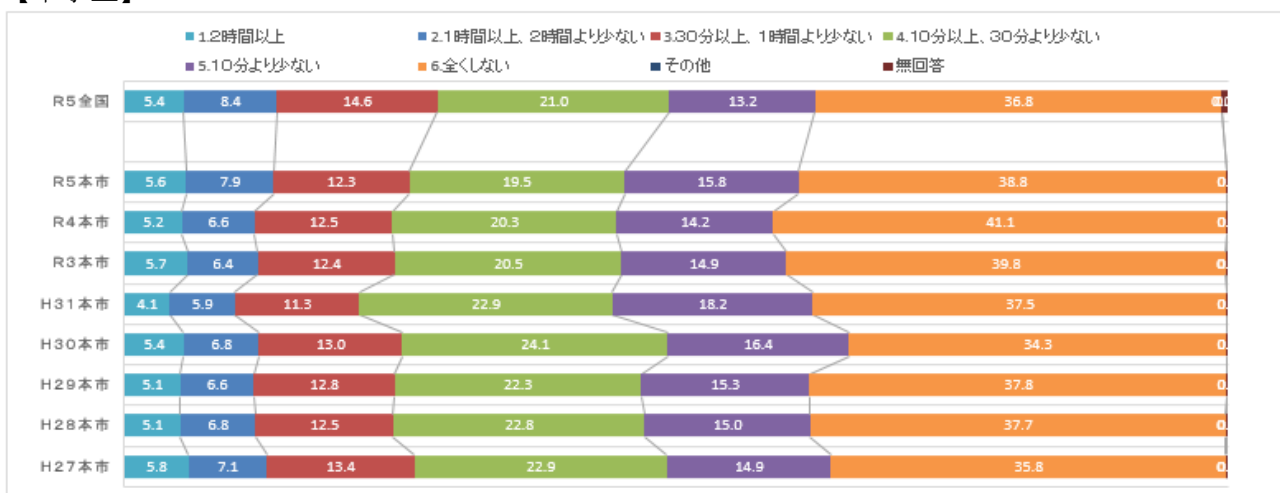
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
4時間以上	12.3	83.7	84.8	5.6	76.4	63.7	62.8
3時間以上、4時間より少ない	5.2	74.7	71.3	8.5	77.7	62.3	61.1
2時間以上、3時間より少ない	9.8	73.8	69.3	16.3	76.5	59.8	56.4
1時間以上、2時間より少ない	23.6	72.6	67.2	20.9	73.7	55.9	51.6
1時間より少ない	32.2	69.6	63.5	26.1	70.0	49.7	45.0
全くしない	16.8	61.8	55.8	22.4	61.8	42.5	38.6

○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

【小学生】



【中学生】

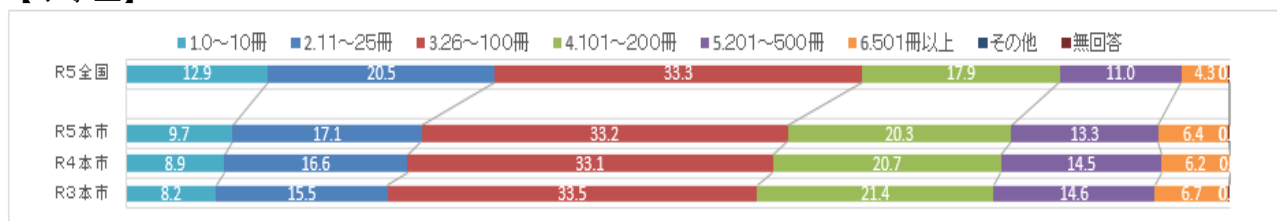


【クロス集計】（単位：％）

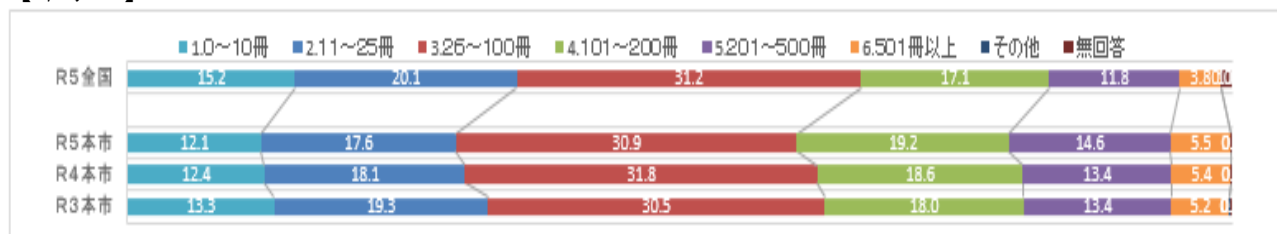
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
2時間以上	9.3	75.4	69.6	5.6	73.5	53.7	47.1
1時間以上、2時間より少ない	11.2	76.3	71.4	8.0	74.4	54.9	50.7
30分以上、1時間より少ない	18.3	74.4	70.4	12.3	75.5	56.8	53.7
10分以上、30分より少ない	24.2	72.7	68.3	19.5	76.2	58.5	54.1
10分より少ない	14.8	68.3	63.9	15.9	72.9	55.0	51.0
全くしない	22.1	65.4	60.0	38.7	65.2	47.4	44.5

○あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）

【小学生】



【中学生】

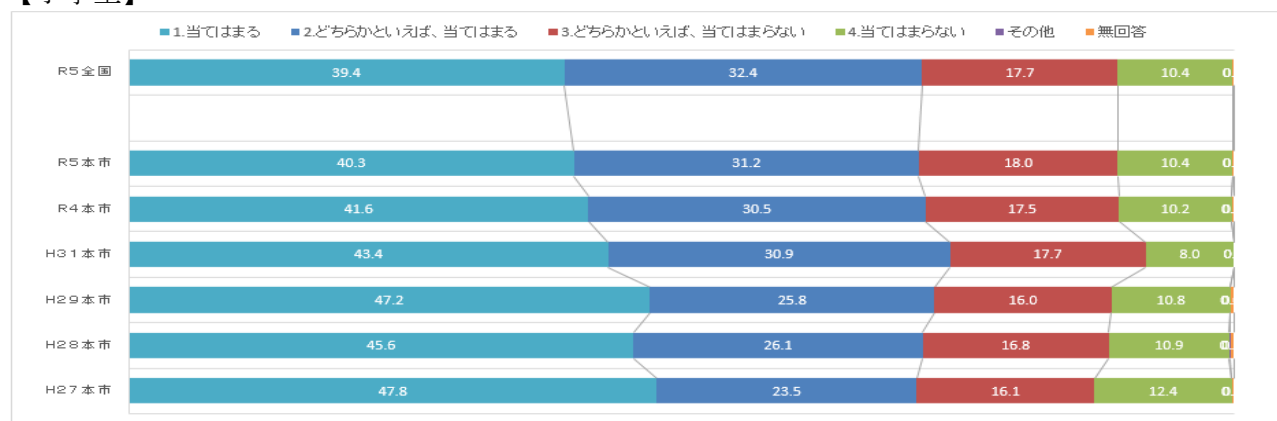


【クロス集計】（単位：％）

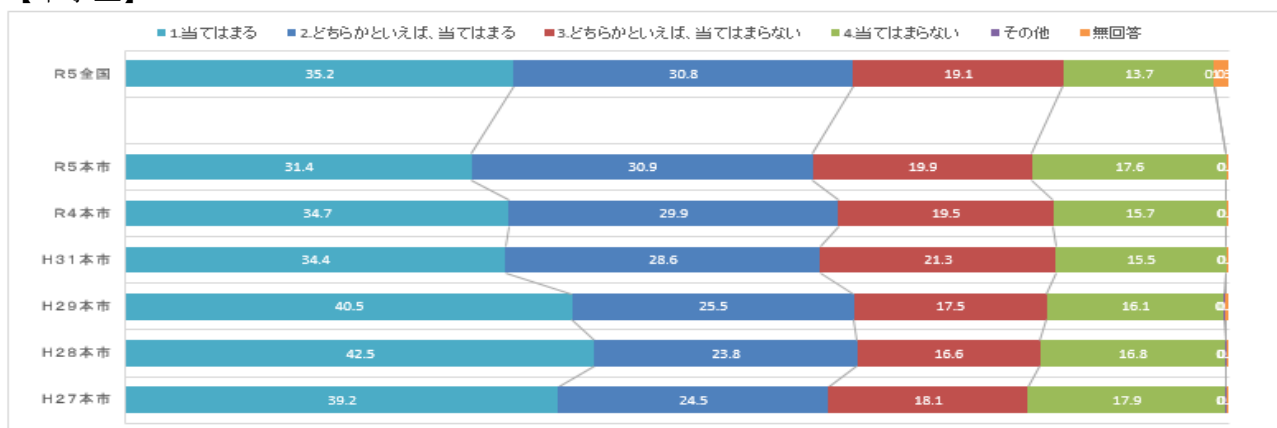
あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
0～10冊	9.6	58.8	51.4	12.1	58.5	39.2	37.4
11～25冊	17.0	66.0	59.2	17.6	66.7	47.2	44.0
26～100冊	33.3	72.1	67.3	30.9	72.5	54.3	50.5
101～200冊	20.3	74.7	70.6	19.2	74.6	56.6	52.6
201～500冊	13.3	77.4	74.9	14.6	77.0	60.4	55.5
501冊以上	6.4	78.0	76.4	5.4	75.5	60.7	55.6

○読書は好きですか

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】（単位：％）

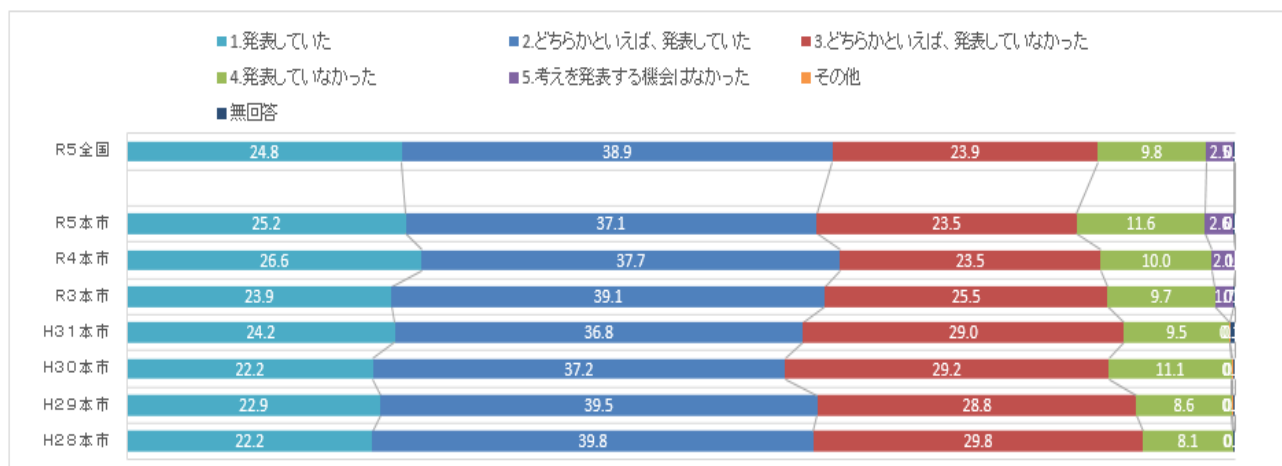
読書は好きですか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
当てはまる	40.5	77.0	72.4	31.4	78.7	60.0	55.7
どちらかといえば、当てはまる	31.3	70.5	65.7	30.9	72.6	54.4	49.9
どちらかといえば、当てはまらない	17.9	66.7	62.1	19.9	67.6	49.4	45.8
当てはまらない	10.2	60.2	55.1	17.6	58.4	41.5	40.1

（２）授業改善に関する質問（主体的・対話的で深い学び）

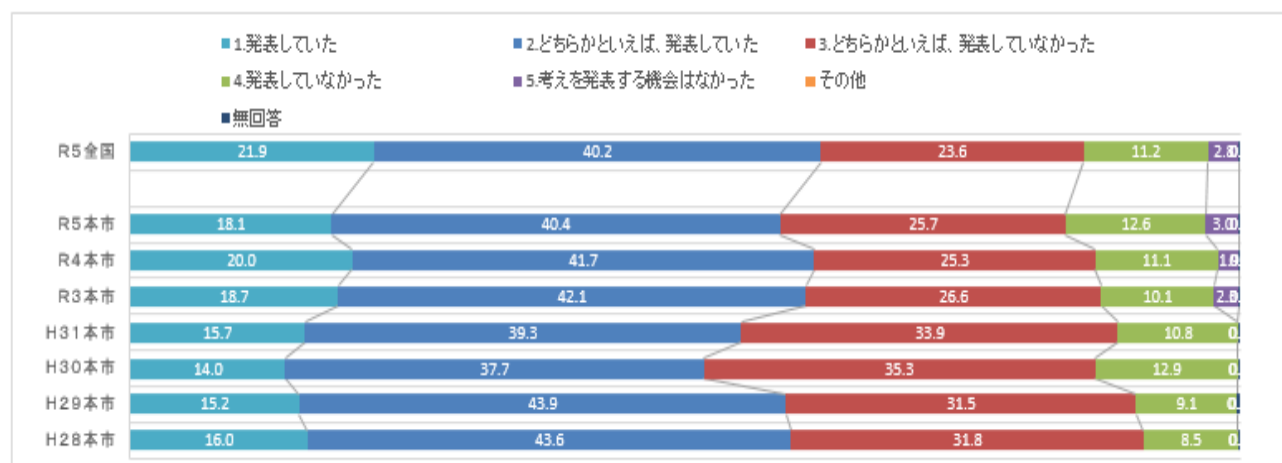
各教科の正答率との相関関係が高い質問であることが確認できます。本市の状況としては年々改善してきており、授業改善の取組が進んでいることがうかがえます。ただし、全国と比較するとまだ低い水準にとどまっている部分もあります。

○５年生までに（１、２年生のときに）受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

【小学生】



【中学生】

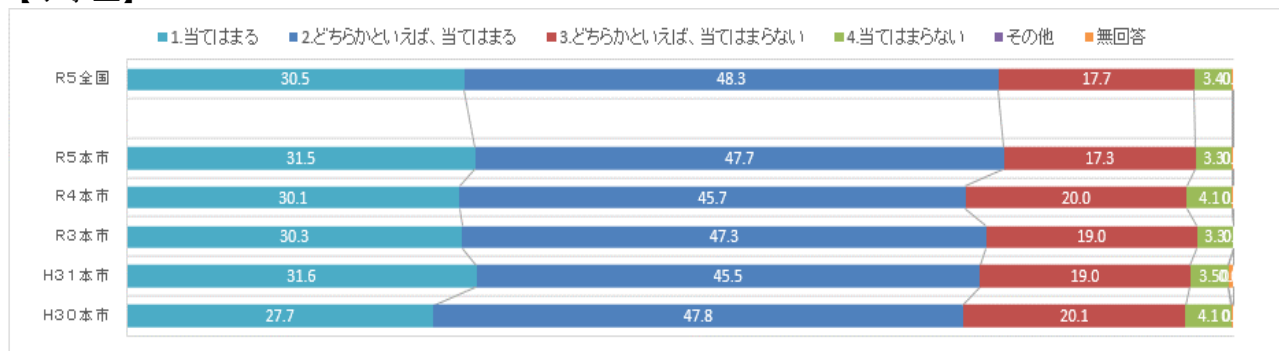


【クロス集計】（単位：％）

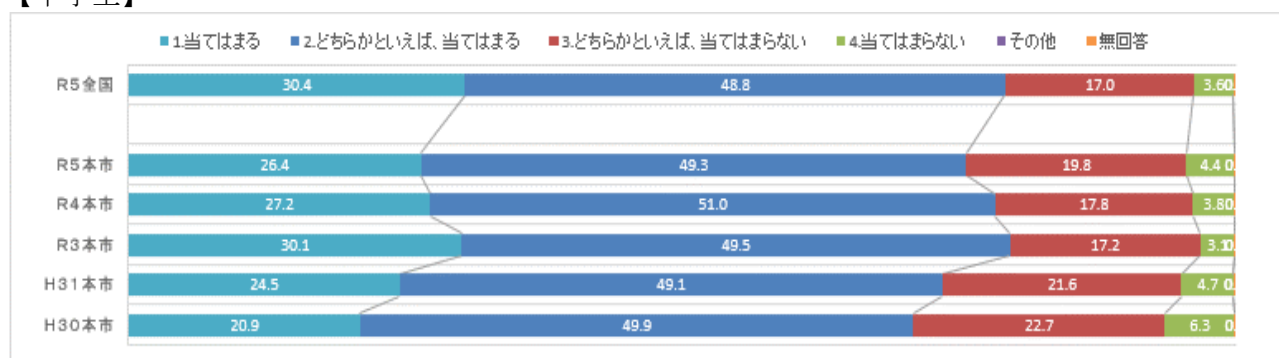
授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
発表していた	25.4	77.9	74.9	18.2	77.3	61.5	57.6
どちらかといえば、発表していた	37.2	72.6	68.2	40.5	74.7	57.4	52.8
どちらかといえば、発表していなかった	23.4	66.8	61.5	25.7	67.7	47.8	44.8
発表していなかった	11.4	65.4	57.5	12.5	61.1	40.8	37.8
考えを発表する機会がなかった	2.6	56.8	51.2	2.9	53.0	34.1	34.2

○5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

【小学生】



【中学生】

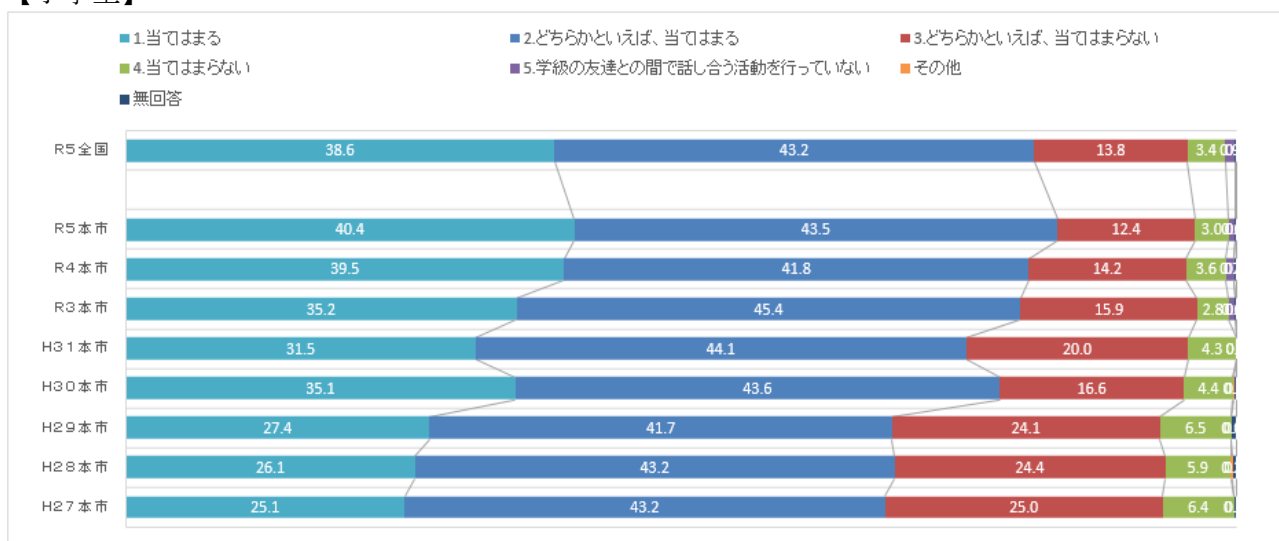


【クロス集計】（単位：％）

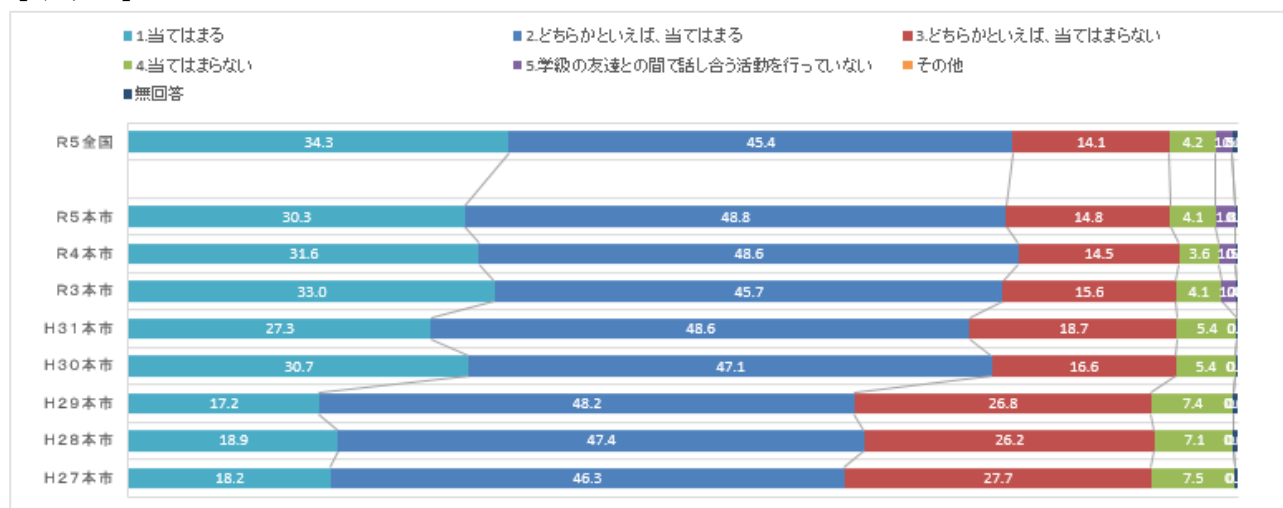
授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
当てはまる	31.6	77.9	74.5	26.4	78.3	63.3	58.0
どちらかといえば、当てはまる	47.8	71.4	66.4	49.3	72.7	54.1	50.3
どちらかといえば、当てはまらない	17.2	62.3	56.4	19.7	61.5	40.8	38.2
当てはまらない	3.2	54.9	48.6	4.4	50.8	30.9	31.8

○学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】（単位：％）

話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、 広げたりすることができていますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
当てはまる	40.5	74.7	69.9	30.4	74.8	57.4	53.8
どちらかといえば、当てはまる	43.5	71.4	66.7	48.8	72.8	54.6	50.2
どちらかといえば、当てはまらない	12.3	64.3	59.7	14.7	64.2	44.8	42.2
当てはまらない	2.9	58.5	52.2	4.1	54.5	35.9	35.8
学級の友達との間で話し合う活動を行っていない	0.6	58.4	56.4	1.8	52.4	34.6	31.6

○5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしなが、
自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

【小学生】



【中学生】

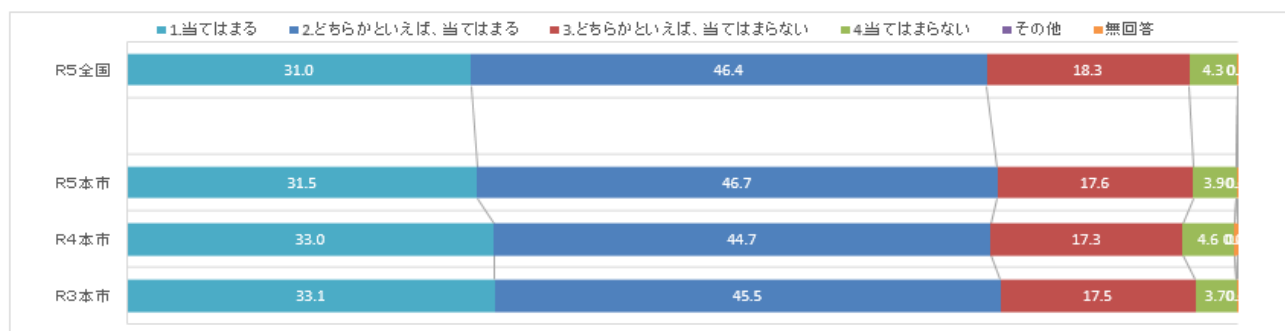


【クロス集計】（単位：％）

5年生までに（1、2年生のときに）受 けた授業では、各教科などで学んだこ とを生かしなが、自分の考えをまと める活動を行っていましたか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
当てはまる	30.1	77.8	73.8	20.3	77.8	62.5	58.4
どちらかといえば、当てはまる	45.6	71.6	66.4	45.7	74.2	56.0	51.8
どちらかといえば、当てはまらない	19.8	63.8	59.0	27.1	64.4	44.7	41.4
当てはまらない	4.5	59.8	55.0	6.8	55.5	36.0	35.4

○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

【小学生】



【中学生】

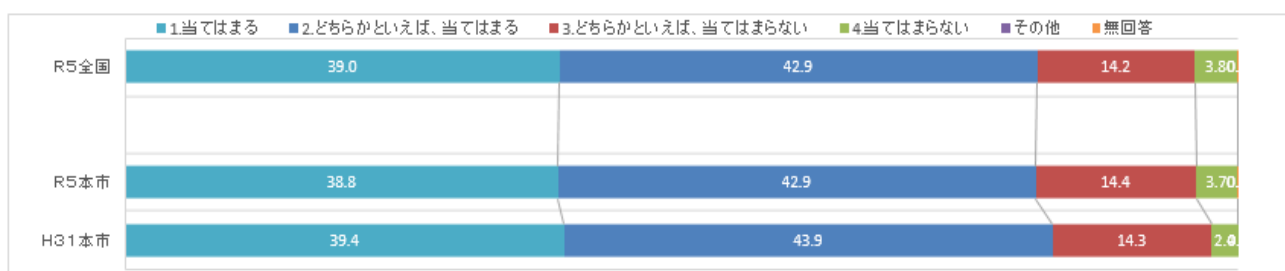


【クロス集計】（単位：％）

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
当てはまる	31.8	76.5	73.2	19.0	76.5	62.2	57.9
どちらかといえば、当てはまる	46.8	71.6	66.5	46.5	73.8	55.9	52.0
どちらかといえば、当てはまらない	17.5	64.4	58.5	27.9	66.4	45.7	41.9
当てはまらない	3.7	58.8	52.2	6.5	55.2	35.0	34.7

○授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか

【小学生】



【中学生】

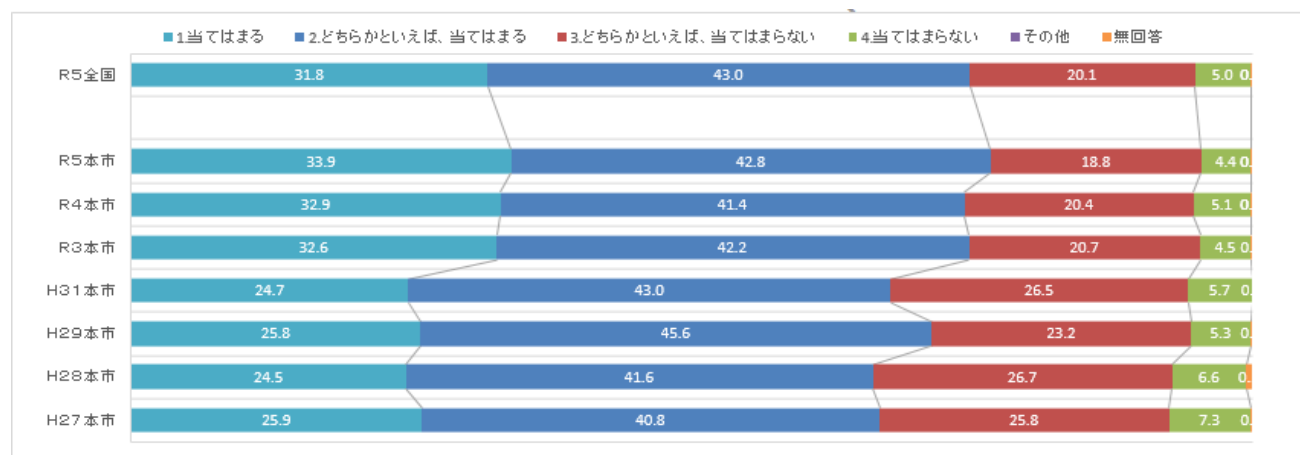


【クロス集計】（単位：％）

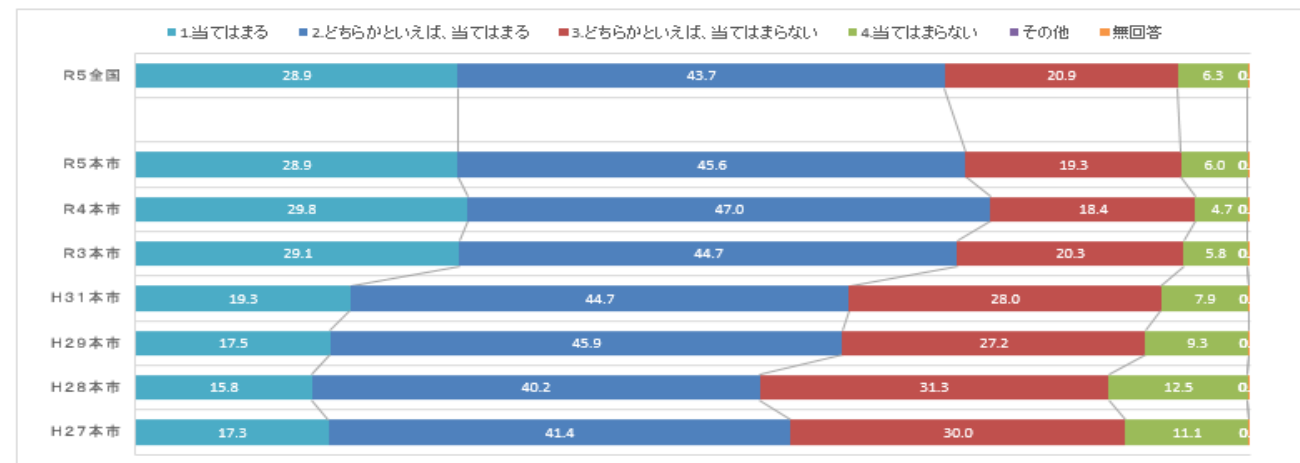
授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
当てはまる	39.0	75.3	71.4	20.4	75.9	60.6	56.4
どちらかといえば、当てはまる	42.9	70.7	65.9	46.2	73.1	55.1	51.1
どちらかといえば、当てはまらない	14.3	65.8	59.2	26.3	67.6	47.5	43.9
当てはまらない	3.7	59.2	54.0	6.8	55.9	35.8	35.0

○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】（単位：％）

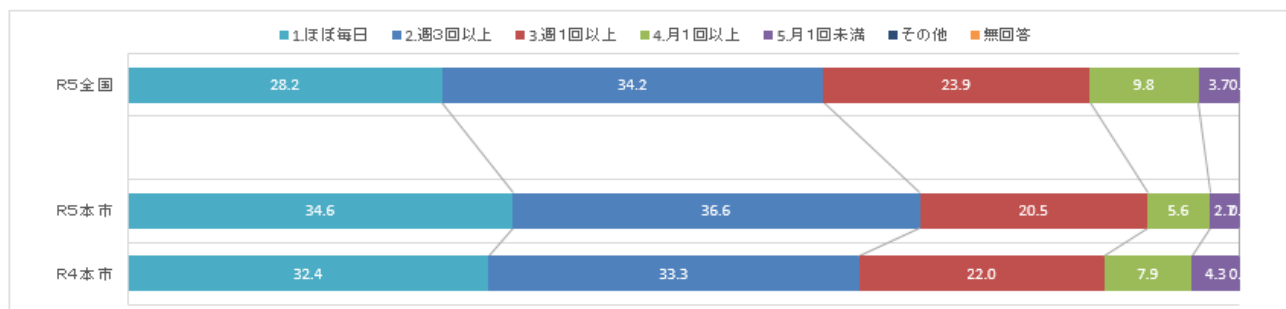
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
当てはまる	34.1	76.8	72.4	29.0	77.4	60.2	56.4
どちらかといえば、当てはまる	42.8	71.3	66.7	45.7	72.4	54.4	50.2
どちらかといえば、当てはまらない	18.7	65.3	60.3	19.2	63.4	43.6	40.7
当てはまらない	4.2	55.0	48.9	5.9	53.5	35.4	33.8

(3) ICT活用

GIGAスクール構想により、各校の環境整備が進んだこともあり、授業中のICT（GIGA端末）の活用頻度は、概ね全国値を上回る結果となりました。また、GIGA端末の家庭への持ち帰りについて、各校の実態に応じてなされていますが、昨年度と比較すると、その頻度は高まっています。

○5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

【小学生】



【中学生】

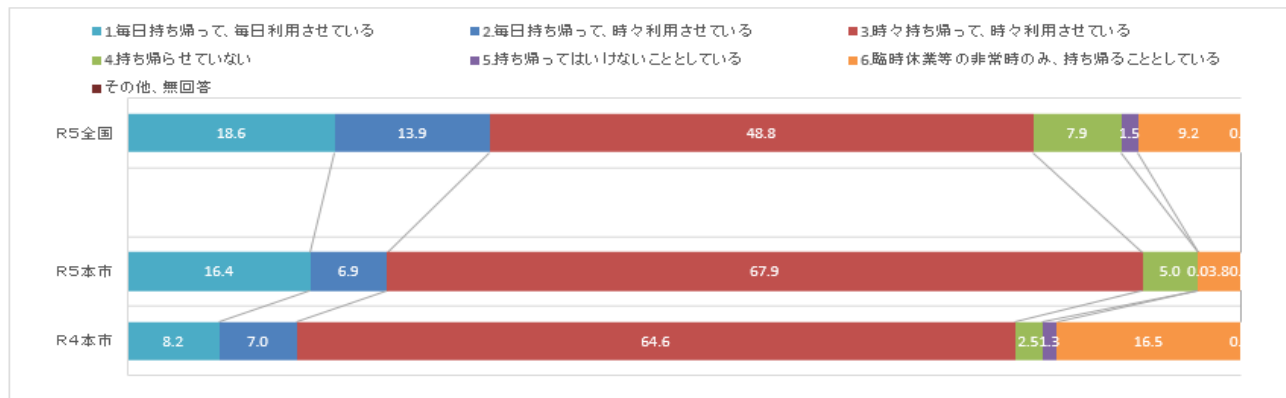


【クロス集計】（単位：％）

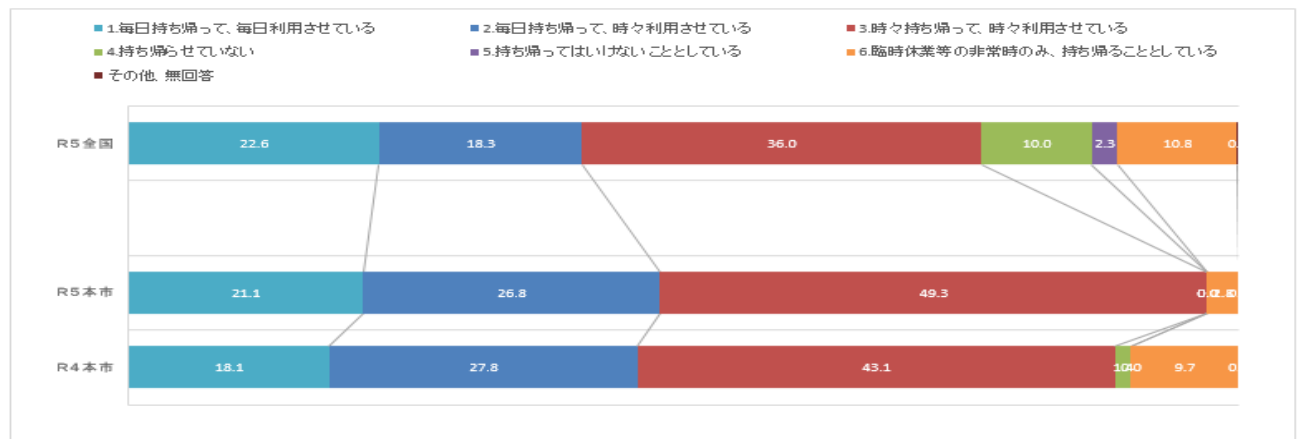
授業でPC・タブレットなどのICT機器を、 どの程度使用しましたか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
ほぼ毎日	34.6	72.2	67.7	30.5	72.3	55.0	51.6
週3回以上	36.9	72.7	67.8	38.3	72.2	54.0	49.9
週1回以上	20.4	70.7	66.6	23.6	70.5	51.4	47.5
月1回以上	5.5	67.5	61.2	5.5	65.9	47.4	43.6
月1回未満	2.6	54.8	48.1	1.9	47.5	30.4	31.1

○PC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか（学校質問紙）

【小学校】



【中学校】

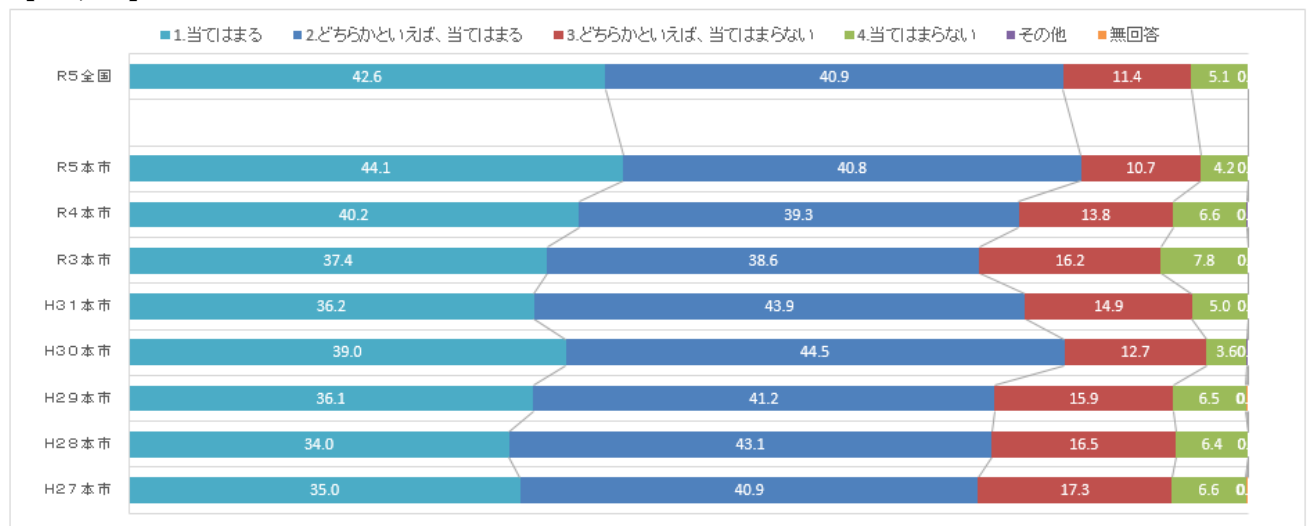


（４）自己有用感、規範意識等

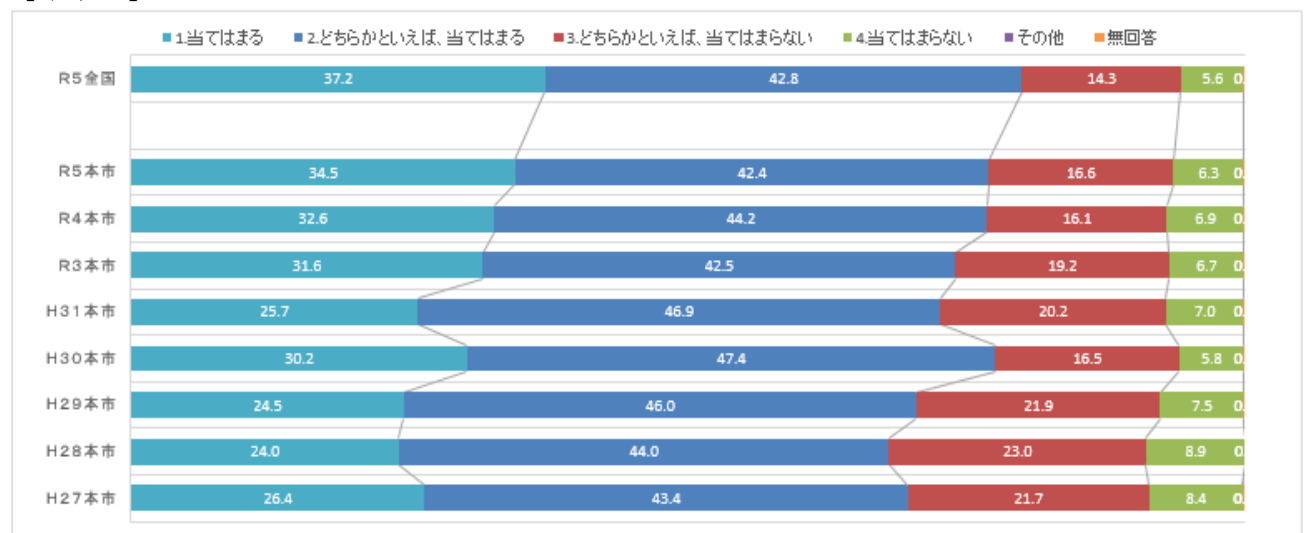
「自分にはよいところがあると思いますか」や「先生はあなたのよいところを認めてくれますか」など、自分を肯定的に捉える質問について、小学生は全国平均よりやや高く、中学生は、いずれも全国平均よりやや低い傾向となり、中学生になると肯定的な回答の割合が減少します。

○自分には、よいところがあると思いますか

【小学生】



【中学生】

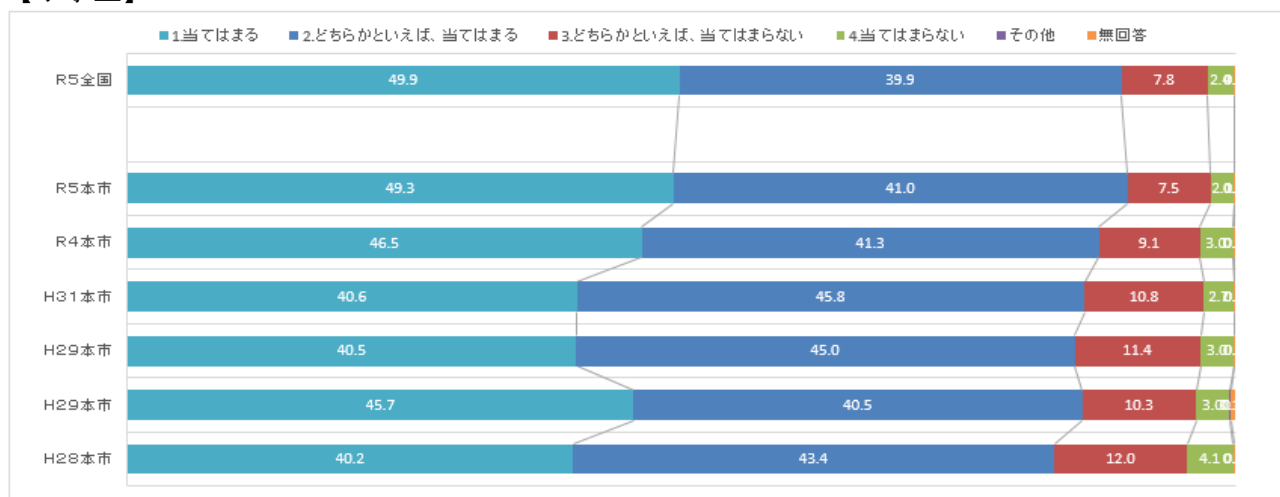


【クロス集計】（単位：％）

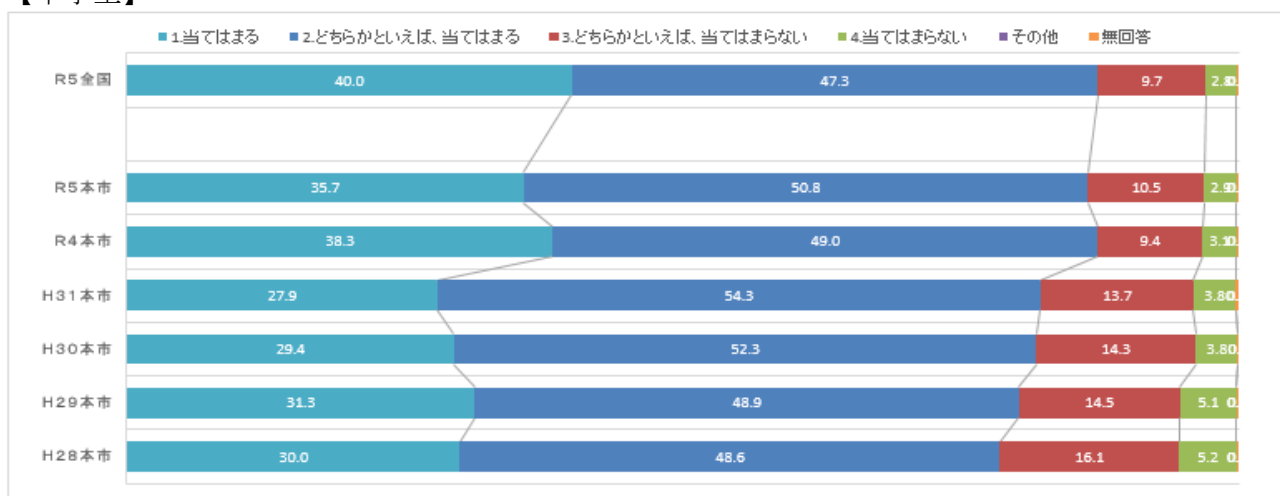
自分には、よいところがあると思いますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
当てはまる	44.3	73.8	69.7	34.6	71.7	54.7	51.3
どちらかといえば、当てはまる	40.8	70.6	65.5	42.4	72.0	53.8	49.9
どちらかといえば、当てはまらない	10.7	67.0	61.7	16.6	69.1	49.1	45.4
当てはまらない	4.2	64.4	58.8	6.2	65.4	46.2	41.7

○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

【小学生】



【中学生】

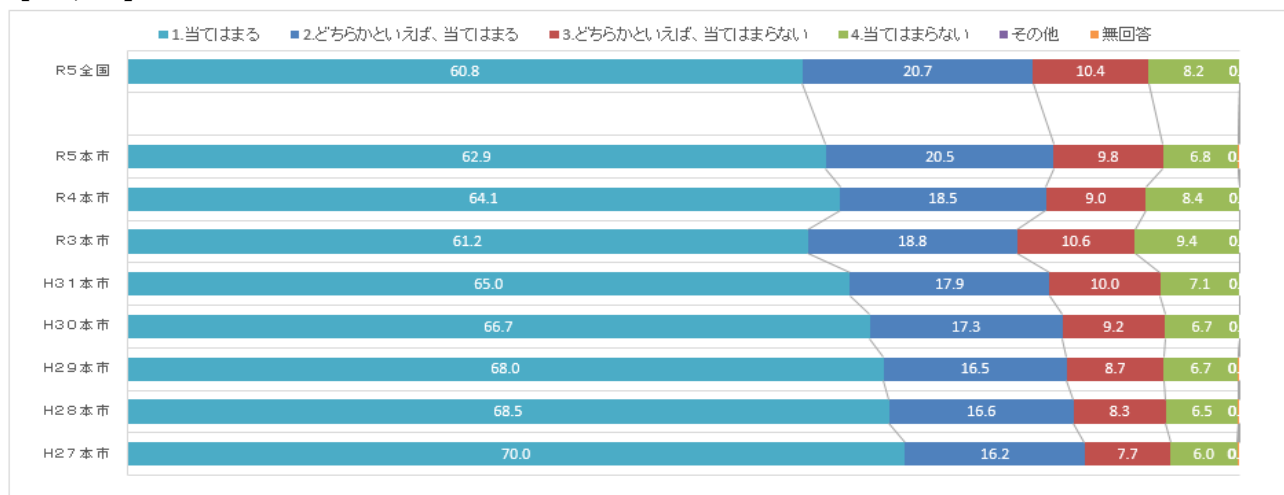


【クロス集計】（単位：％）

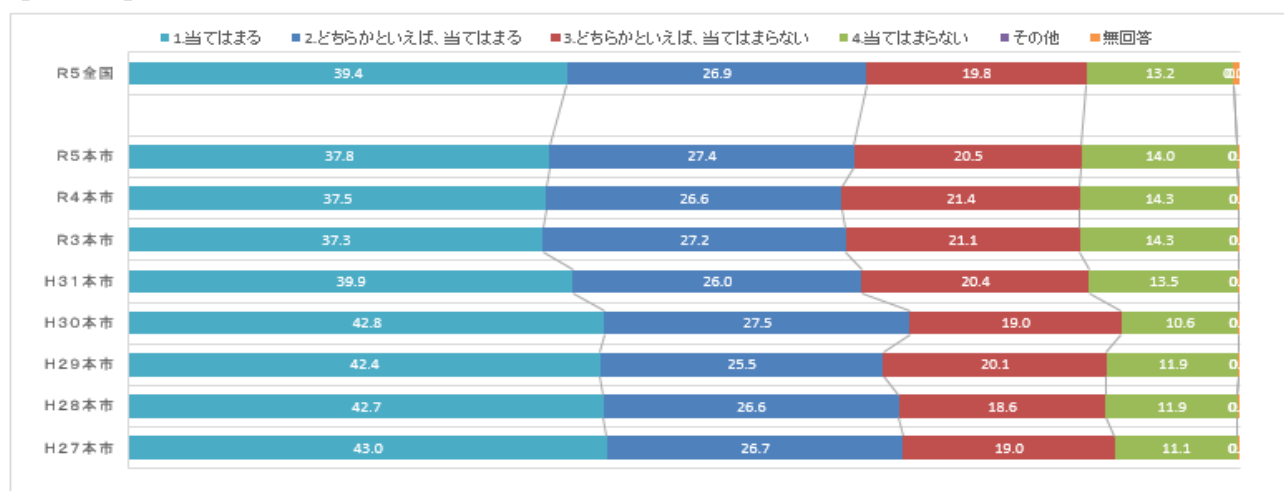
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
当てはまる	49.3	73.3	68.5	35.7	71.9	54.4	51.2
どちらかといえば、当てはまる	41.0	70.4	65.9	50.7	71.7	53.3	49.2
どちらかといえば、当てはまらない	7.5	66.9	61.7	10.5	67.1	48.5	44.5
当てはまらない	2.1	60.9	57.3	2.9	62.9	44.6	40.7

○将来の夢や目標を持っていますか

【小学生】



【中学生】

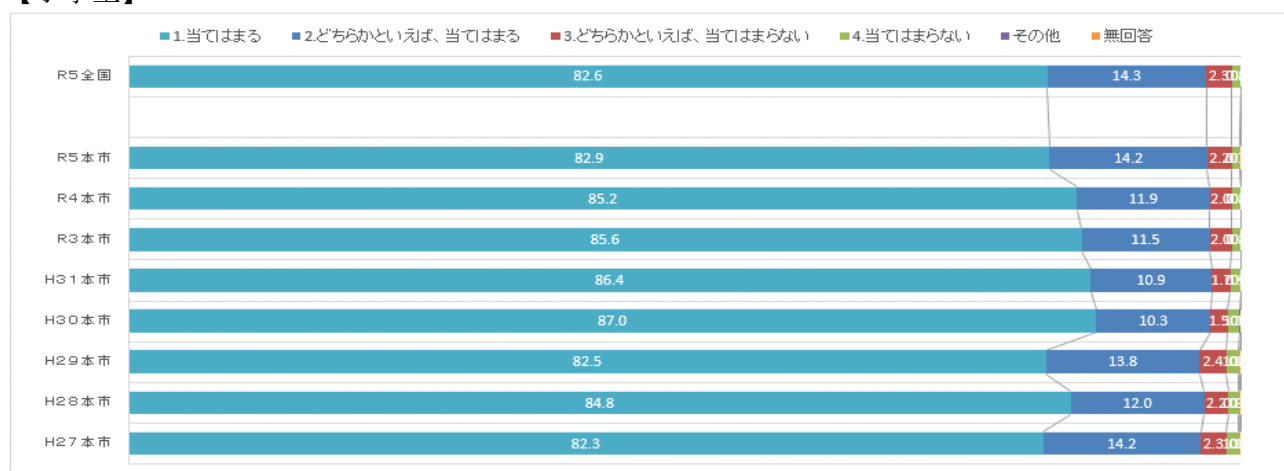


【クロス集計】（単位：％）

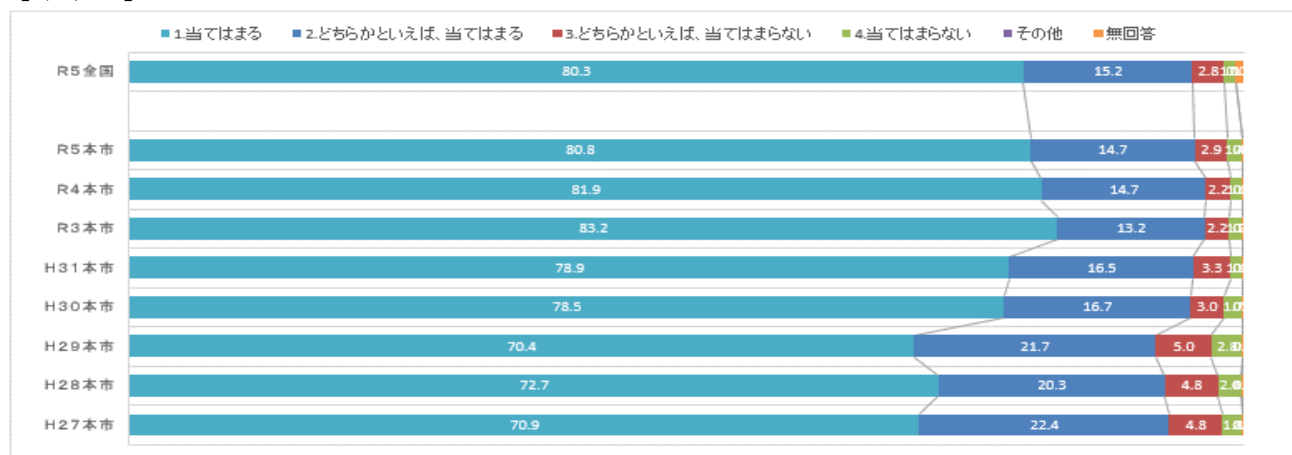
将来の夢や目標を持っていますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
当てはまる	63.0	71.3	66.2	37.9	69.4	50.5	48.0
どちらかといえば、当てはまる	20.4	72.8	68.4	27.4	72.9	55.0	50.7
どちらかといえば、当てはまらない	9.8	71.9	67.7	20.5	73.3	55.8	51.4
当てはまらない	6.8	67.1	63.8	13.9	68.5	51.1	46.1

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

【小学生】



【中学生】

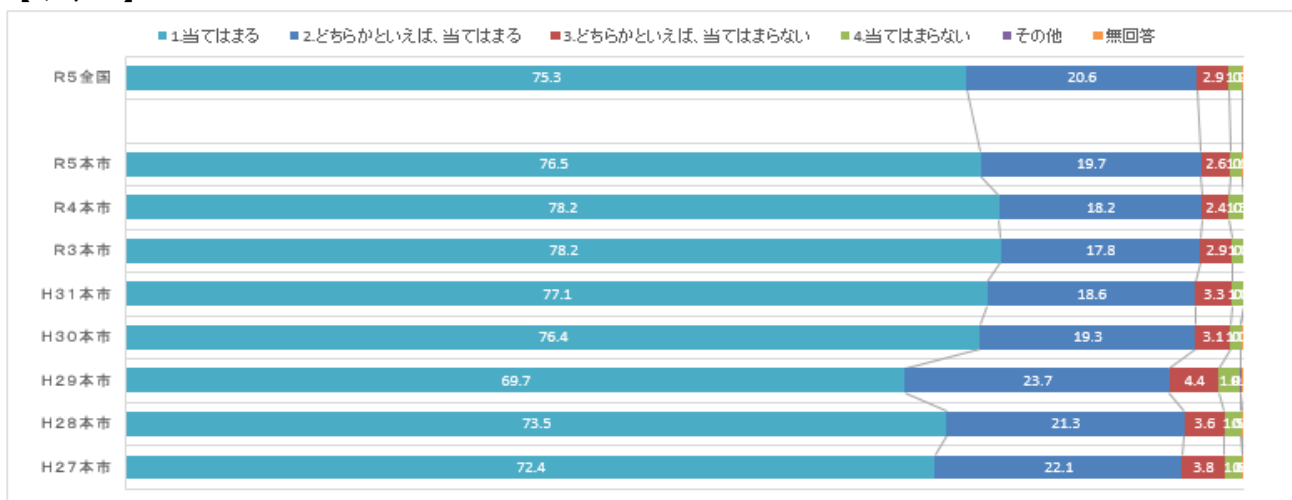


【クロス集計】（単位：％）

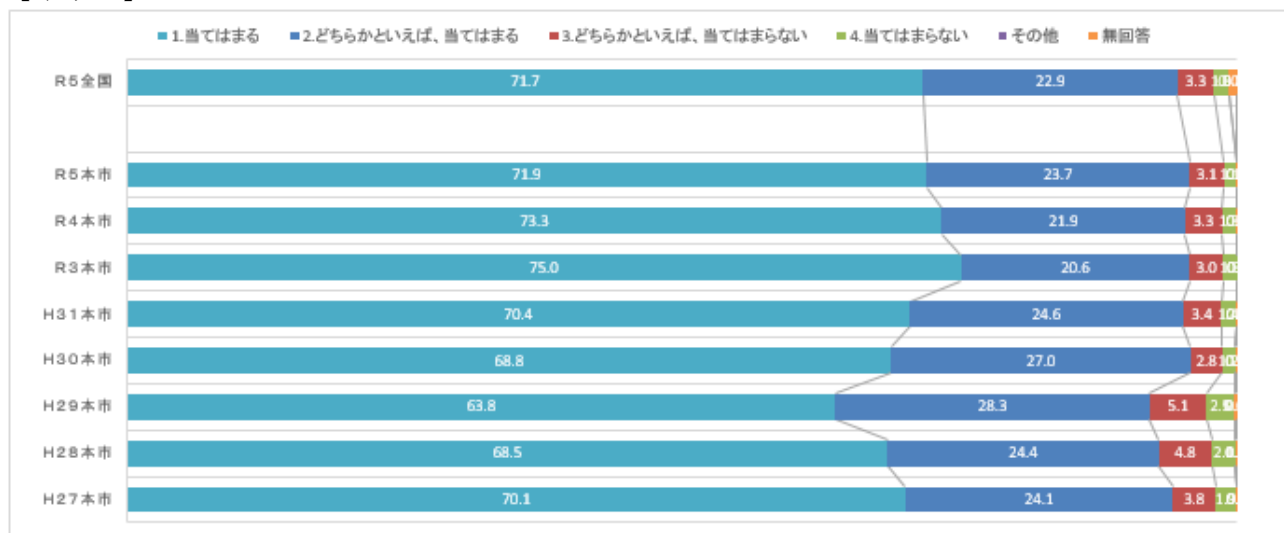
いじめは、どんな理由があってもいけないこと だと思いますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
当てはまる	82.9	71.9	66.8	81.0	71.2	52.8	49.4
どちらかといえば、当てはまる	14.2	69.3	66.6	14.6	72.2	54.4	49.6
どちらかといえば、当てはまらない	2.2	66.2	62.6	2.9	64.3	48.6	43.8
当てはまらない	0.7	63.8	60.9	1.4	62.5	48.1	43.7

○人の役に立つ人間になりたいと思いますか

【小学生】



【中学生】

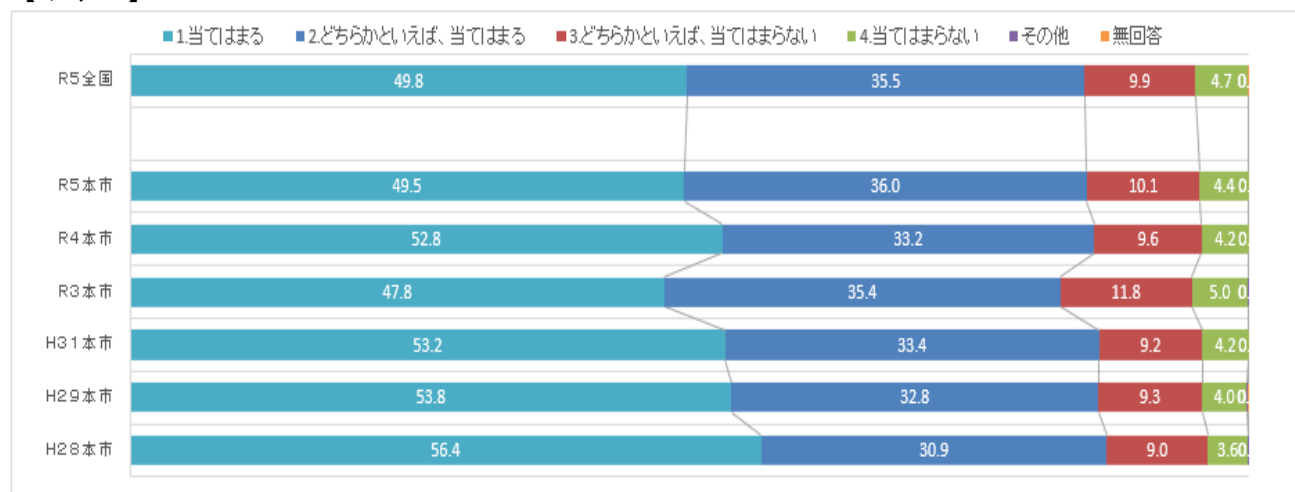


【クロス集計】（単位：％）

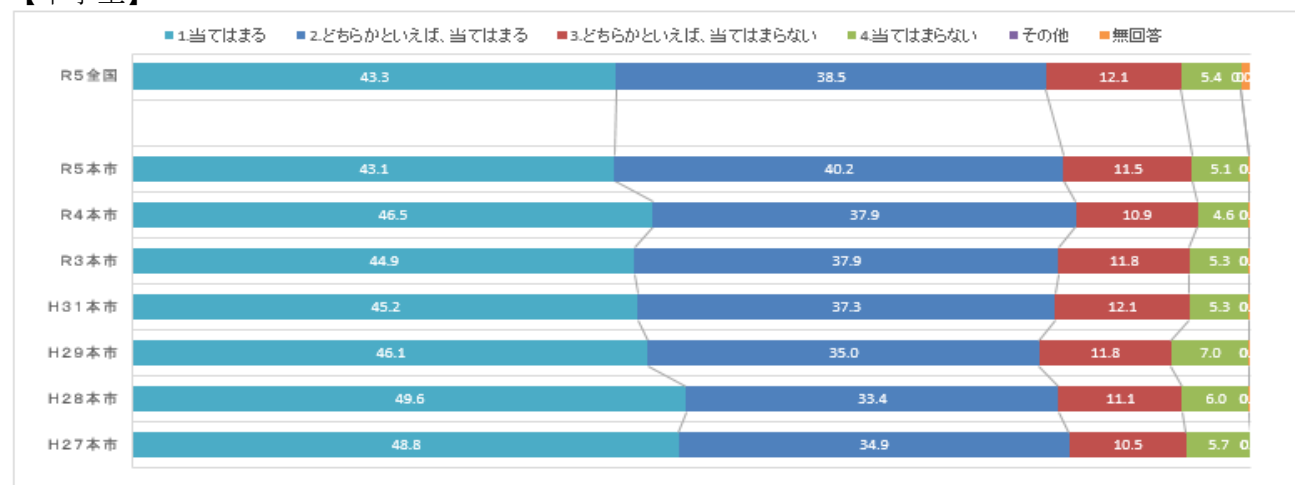
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
当てはまる	76.7	72.6	67.8	71.9	72.0	54.1	50.4
どちらかといえば、当てはまる	19.6	68.2	63.8	23.6	69.4	50.3	46.6
どちらかといえば、当てはまらない	2.6	64.9	59.3	3.1	65.0	46.8	42.7
当てはまらない	1.0	59.8	54.8	1.1	59.2	45.2	42.0

○学校に行くのは楽しいと思いますか

【小学生】



【中学生】

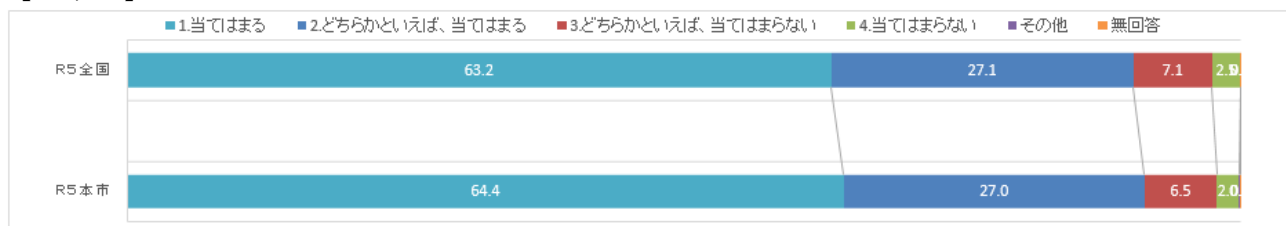


【クロス集計】（単位：％）

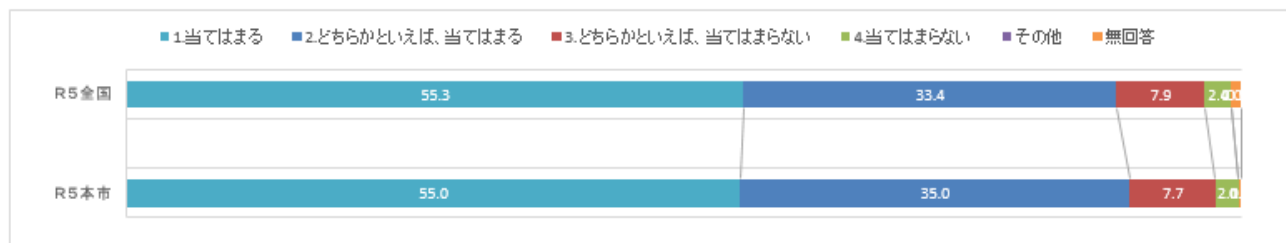
学校に行くのは楽しいと思いますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
当てはまる	49.7	73.2	68.5	43.3	71.5	54.5	50.6
どちらかといえば、当てはまる	35.9	71.1	66.2	40.1	71.6	52.8	49.0
どちらかといえば、当てはまらない	10.0	66.6	61.8	11.5	69.6	50.4	46.6
当てはまらない	4.3	63.4	59.5	5.1	65.2	45.5	43.8

○友達関係に満足していますか

【小学生】



【中学生】

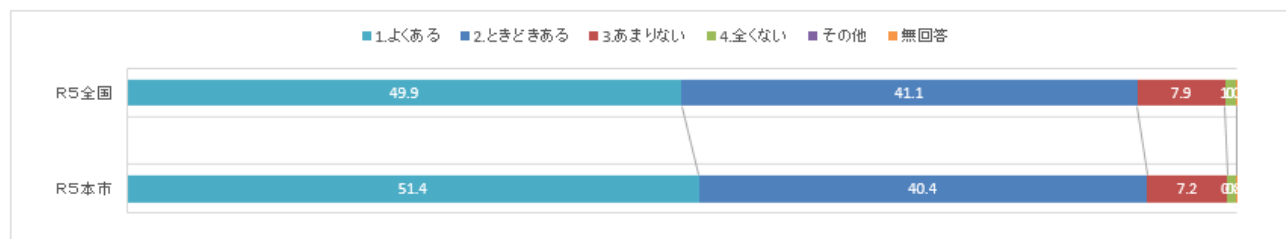


【クロス集計】（単位：％）

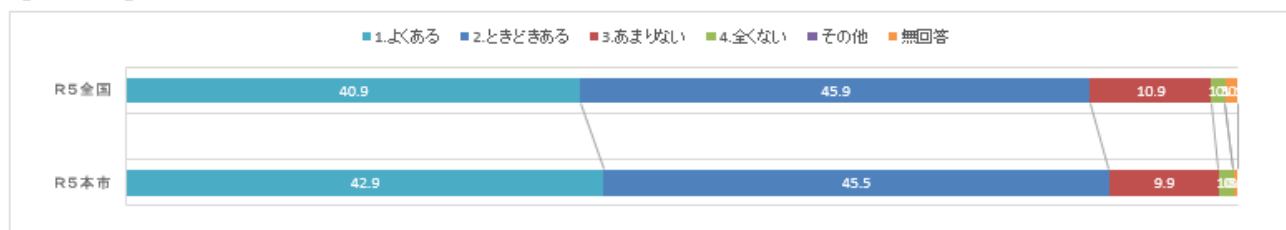
友達関係に満足していますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
当てはまる	64.4	71.2	66.6	55.0	70.0	52.2	48.9
どちらかといえば、当てはまる	27.0	72.2	67.5	35.0	72.9	54.7	50.3
どちらかといえば、当てはまらない	6.4	70.3	65.1	7.7	71.0	52.4	47.6
当てはまらない	2.0	68.0	63.5	2.1	66.1	44.0	44.4

○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】（単位：％）

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることは どれくらいありますか	本市立小学校			本市立中学校			
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率		
		国語	算数		国語	数学	英語
よくある	51.5	72.5	67.3	43.0	71.4	53.2	49.8
ときどきある	40.4	70.5	66.2	45.5	71.4	53.5	49.3
あまりない	7.1	69.1	66.0	9.9	69.7	50.9	47.2
全くない	0.8	63.0	58.1	1.2	54.5	38.2	37.9

4 京都市の学力向上の取組

本市では、ICTも活用しながら、学習の基盤となる資質・能力の育成、多様な一人一人の興味・関心等に応じ、意欲を高め、やりたいことを深められる学びを提供するため、様々な取組を推進しています。以下に、その一部をご紹介します。

(1) 京都市小中一貫学習支援プログラム

子どもたちに自学自習の習慣化（計画→事前学習→確認テスト→結果→事後学習）を図るため、独自のプログラムを実施しています。

確認テストを通して、子どもたちがつまずきやすいポイントや定着に課題がみられる単元・領域に関するデータを蓄積し、予習・復習教材に生かすとともに、それらのデータや全国調査の結果をもとに、多面的な分析を行い、授業改善等に生かしています。

ご家庭においても、確認テストの実施後に返却される、苦手やつまずきなどがまとめられた結果資料を子どもたちと一緒にご覧いただき、自学自習の習慣化に向けて、話し合ってみてください。

また、家庭学習のヒントをわかりやすくまとめた冊子「自学自習のすすめ」を、小・中学校入学時に子どもたちへ配布しています。是非ご一読ください。

(2) 小中一貫教育、保幼小連携・接続の推進

全ての中学校区において、義務教育卒業時の「目指す子ども像」とその実現に向けた「付けたい資質・能力」などを示す「小中一貫教育構想図」を作成するなど、小中一貫教育の充実を図っています。

また、幼稚園・保育園（所）・認定こども園等の就学前施設で培われた学びと育ちを小学校教育に円滑に接続できるよう、就学前施設と小学校が連携するとともに、小学校では入学直後の子どもたちも安心して学習に取り組める環境を整えるため、「スタートカリキュラム」の編成・実践を進めています。

(3) 各教科等の授業の改善・充実

これからの学校教育は、子どもたち一人一人に応じた「個別最適な学び」と、子どもたちが共に学び合う「協働的な学び」が求められます。そうした学びを一体的に充実させた「主体的・対話的で深い学び」の充実に向け、各校でICTも活用しながら、授業改善を進めています。教師の一方的な教え込み（レクチャー）型の授業ではなく、問題解決・探究型の授業の中で、子どもたち同士が教え合う、学び合うことによって、自ら必要な力を獲得する授業への転換を図っています。

(4) 家庭学習への支援（保護者、地域との連携）

学校運営協議会^{※1}をはじめ、地域・保護者・学生の皆様の協力をいただき、「放課後まなび教室」^{※2}、「未来スタディ・サポート教室」^{※3}など、基礎学力の定着と家庭学習の充実を進めています。

各校の事情に応じて、GIGAスクール構想により配布された一人一台端末の家庭への持ち帰りも進めています。家庭に持ち帰った際は、その日の復習等に活用いただくことはもちろん、デジタルドリル等で一人一人のペースに応じた予習等にも活用いただけます。

また、地域の皆様が主体となって開催いただく自然体験や伝統文化体験、防災・安全の取組等は、地域の方々に支えられているという意識や、地域の一員として主体的に関わろうとする意識を子どもたちに育む貴重な機会となっており、学ぶ意欲、自尊感情、自己有用感の高まりにつながっています。

その他、「本大好きな」子どもの育成を目的とする読書ノートを活用した「めざせ100冊！読書マラソン」運動^{※4}や規範意識を育むためのあいさつ運動、情報モラルに関する取組など、学校、家庭、地域が一体となった着実な取組が、子どもたちの学力を支えています。

※1 「学校運営協議会」…令和4年8月1日現在252校園に設置。幼・小・中・小中・総合支援学校は全校園設置。

※2 「放課後まなび教室」…平成21年度から全ての小学校区で、学校運営協議会や保護者、地域、学生等の方々の参画を得ながら、放課後の子どもたちに学習の習慣づけを図る『自主的な学びの場』と『安心・安全な居場所』として、運営しています。

※3 「未来スタディ・サポート教室」…平成29年度以降すべての中学校で、放課後等に基礎学力の定着を図るための学習支援を行っています。

※4 「めざせ100冊！読書マラソン」運動…100冊読破達成児童数は令和3年度30,528人（全児童の51%）でした。